

朝の館内放送

令和元年8月5日

みなさん、おはようございます。

市長の中村健です。

今年の10月より、消費税の税率が引き上げられる見込みですが、政府は、増税対策として、プレミアム付商品券の発行、住宅ローン減税の拡充・延長などを打ち出しており、その中の一つに、キャッシュレス決済によるポイント還元があります。

そして、キャッシュレス決済と一口に言っても、クレジットカードによるもの、電子マネーによるもの等、いくつか種類があり、良い意味でも悪い意味でも最近話題になっているのが、スマートフォンを使用するQRコードによる決済です。

QRコード決済については、PayPayが超大型のキャンペーンを実施したことにより、お茶の間にも随分浸透したように思いますが、遅ればせながら、今年度に入ってから私自身も利用してみることにしました。

率直な感想は、簡単に支払いが済むのでとにかく便利なのと、各社によるキャンペーンが積極的に展開されていることもあって、ワクワク感もありました。

こういう感覚は、自分自身が体験してみない限りは肌身に感じることはできません。

現在、市では、スマート自治体の実現に向け、プロジェクトチームを立ち上げて各課で検討が進んでいますが、スマート化されることによる恩恵も同じで、実際にスマー

ト化されてみない限りは実感が伴わないかもしれませんが、デモを体験したり、いち早く導入したふるさと納税業務のスマート化を体験するなりして、自分なりに腹に落とし込みながら取り組んでもらえればと思います。

そして、この分野についてももう少し広い視野で見ると、きっと society5.0 という言葉に行き当たるはずです。

society5.0 は、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立させる、人間中心の社会をいいます。

これが実現されることにより、全てのヒトとモノがインターネットで繋がり、様々な知識や情報が共有されることで、今までにない新たな価値が生み出されるとともに、AIによって必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動運転などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されることが期待されています。

利便性を追求するがあまり、安全性への対策が疎かになってしまっただけは愚の骨頂ですが、テクノロジーの進歩により、私たちの生活や、それを取り巻く社会のあり方が大きく変わろうとしています。

そんな社会を頭の片隅で思い描いてみつつ、まずはその入り口として、キャッシュレス決済を利用してみてはいかがでしょうか。

以上で、朝の館内放送を終わります。